

河川護岸基礎用プレキャストコンクリートブロック

RAB(ラブ)



画期的な新製品 RIVER ACE BLOCK “ラブ” 開発による工期短縮、現場作業の改善

従来の現場打ちコンクリート工法に比べて基礎構築期間の大幅な短縮化が可能で現場施工の生産性を飛躍的に向上させることができます。

また、ユニット化により資材としての均質化、施工精度の向上が期待できます。さらに、作業現場での機械化が図れ、省力化の推進、環境保全への弾力的対応など数々の優れた特長があります。

RABの特長

- 1 現場でのコンクリート打設が不要です。
- 2 現場施工工期が大幅に短縮できます。
- 3 据付け自在性があり、河川の法線に沿って施工できます。
- 4 品質の安定したプレキャスト工場製品です。
- 5 機械化施工で技術工や作業員の省人化が図れます。
- 6 水替工が節減できます。また、完全なドライ工法でなくても据付可能です。



100mの護岸基礎を施工するのに何日かかるでしょうか？

今までは

現場打護岸基礎

建設工事を取巻く環境は、技能工の不足をはじめ高齢化等による現場施工の改善、合理化を迫られています。特に河川工事に於いては、工期の長期化による流域地域社会への影響も大きい。

20日くらいでできます

これからは

“ラブ”（プレキャスト護岸基礎）

護岸基礎のプレキャスト化により半ドライ工法ができるので、締切り及び水替工の簡略化とそれに伴う施工工程、工期の短縮、現場施工の生産性を飛躍的に向上させることができます。省力化の推進によって労働環境の改善にも大幅な前進が期待できます。


2日あれば据付できます

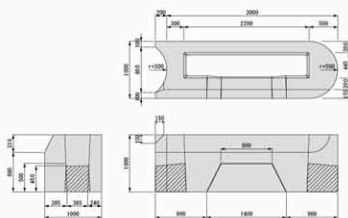
施工例



単体図

RAB 1 RAB1を流水鋼矢板作用型に改造したもので鋼矢板側部と連結させるため、中詰めには補強鉄筋を挿入しコンクリートを充填させる。

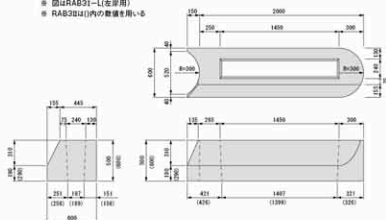
RAB 2 ※ 図2RAB1-L(左岸用)
※ RAB2は斜線部  を除く形状となります



RAB1を流水鋼矢板作用型に改造したもので鋼矢板側部と連結させるため。

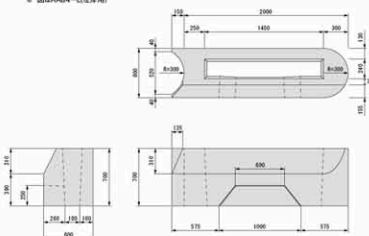
RAB 3-I 九州地方整備局土木工學設計要領A種と同高さの製品です。

RAB 3-II 四国地方整備局河川工學マニュアル②(低水護岸用)と同等の高さの製品です。
※ 図2RAB3I-L(左岸用)
※ RAB3IIは①内の数値を用いる

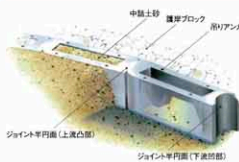


RAB 4 九州地方整備局土木工學設計要領B種と同高さの製品です。

四国地方整備局河川工學マニュアル③(低水護岸用)と同高さの製品です。
※ 図2RAB4-L(左岸用)



施工図



| 呼び名 | 参考質量 (kg) | 価格 (円) | 寸法 (mm) | 中詰量 (m ³ /個) |
|------------|--------------|-----------|----------------|----------------------------|
| RAB1-R・L | 4089 | | 1000×1000×3000 | 1.183 |
| RAB2-R・L | 3631 | | 1000×1000×3000 | 1.255 |
| RAB3I-R・L | 920 | | 600×500×2000 | 0.156 |
| RAB3II-R・L | 1130 | | 600×600×2000 | 0.183 |
| RAB4-R・L | 1220 | | 600×700×2000 | 0.270 |